



平成28年2月12日

各位

上場会社名 井関農機株式会社
 代表者名 代表取締役 木村 典之
 (コード番号 6310)
 問合先責任者 IR・広報室長 鈴木 文利
 (Tel 03-5604-7709)

平成27年12月期通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成27年11月11日に公表しました平成27年12月期（平成27年4月1日～平成27年12月31日）通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成27年12月期通期連結業績予想値と実績値との差異 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	148,500	1,000	700	△1,800	△7.97
実績値 (B)	145,210	460	947	△1,465	△6.49
増減額 (B-A)	△3,290	△540	247	335	
増減率 (%)	△2.2	△54.0	35.3	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	157,417	△535	499	△319	△1.40

(注) 当社は、平成27年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しております。経過期間となる平成27年12月期は、3月決算子会社につきましては、平成27年4月1日から平成27年12月31日の9ヶ月間を連結対象期間、12月決算子会社につきましては、従来通り、平成27年1月1日から平成27年12月31日の12ヶ月間を連結対象期間としております。

【差異の発生理由】

平成27年12月期通期連結業績予想値と実績値との差異につきましては、

- ・売上高は、予想比△33億円の1,452億円となりました。

国内売上高は、10-12月における国内農機製品の販売がリース事業の採択遅れに起因する翌期への売上持越し等もあり、予想を下回ったことから、農機製品全体で△26億円。また、資材などその他農業関連で△5億円となり、全体で予想比△31億円の1,225億円。

(国内△31億円：農機製品△26、作業機△1、部品△1、施設工事+2、その他△5)

海外売上高は、中国が田植機の出荷遅れ等により予想比△4億円となったものの、北米・その他アジアでそれぞれ+1億円となり、全体で予想比△2億円の227億円。

(海外△2億円：北米+1、欧州△1、中国△4、その他アジア+1、部品・その他+1)

- ・利益面においては、営業利益は、経費では通期で26億円圧縮の当初計画に対して、連結区分変更による影響を除き30億円と達成となったものの、国内農機製品の販売（10-12月）が予想を下回ったことによる粗利益の減少等により予想比△5億円。

経常利益は、営業利益の減少があったものの、為替差益の計上や持分法適用会社の収益が好転したこと等により予想比+2億円。

税前利益は、経常利益の増加や投資有価証券売却益等があったものの、課徴金の計上により、予想どおり。

当期純利益は、税負担の減少により+3億円となりました。

以上